

# 令和4年度

## 教育指導部の方針書

部名	教育指導部
部長名	西村 直崇

### 1. 部の使命(ありたい姿)

楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり  
～郷土を愛し、共に語り、共に未来を切り拓く人を育てるまち、横手～

担当政策	政策2: 学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
担当施策	2-1: 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 2-2: 安全で安心して学べる教育環境の整備

### 2. 部の抱える課題(現状)

- ・「確かな学力」「豊かな心と人間性」「健やかな体」をバランスよく備えた子どもを育成する取組の一層の充実
- ・子どもが安全で安心して学べる教育環境の充実
- ・安全・安心な学校給食の提供と食育の推進および給食業務の効率的・効果的な取組
- ・教育委員会内の諸課や関係機関と連携した取組の一層の推進

### 3. 今年度の『スローガン』

育てよう未来を拓く生きる力と横手愛 咲かせよう子どもたちの笑顔

### 4. 今年度の方針

- (1) 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
  - ① ICT活用のさらなる推進と言語活動の充実による一層の授業改善
  - ② 就学前教育・保育及び特別支援教育の充実
  - ③ 不登校適応対策といじめの早期発見・早期解消
- (2) 安全で安心して学べる教育環境の整備
  - ① 教育環境の整備
  - ② 安全で充実した学校給食の提供と食育活動の推進

### 5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	取組内容	・言語活動の充実による学力向上に向けた指導・支援の充実及びICT活用指導力の向上 ・就学前教育・保育の充実と小学校教育との円滑な接続の推進、特別支援教育の充実 ・不登校、いじめの早期発見・早期解消を実現する生徒指導体制の構築と関係機関との連携
(2)	実現したい成果	安心して楽しく学べる教育環境づくりの推進
	取組内容	・スクールバスの安全で適正な管理・運行 ・学校通学路の安全対策の推進 ・奨学金、就学援助の周知及び適正な事務の執行
(3)	実現したい成果	安心・安全、安定した学校給食の提供と食育の推進
	取組内容	・秋田県版HACCPに基づく衛生管理の徹底 ・安定した地場産品の給食食材活用による食育活動の推進 ・給食業務の一部民間委託や給食センター統合による効率的・効果的な取り組みの推進

## 6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

### (1) 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実

- ・全小・中学校において、タブレット端末を用いた学習を日常的に展開し、より効果的な使用場面・使用方法を確立すべく実践の蓄積が図られている。これからの時代に対応した学力観への転換を図りつつ、児童生徒一人一人の個別最適な学びを実現するための授業改善が図られるよう学校訪問指導を行った。
- ・「わか杉っ子！育ちと学びステップアップ事業」を活用しながら就学前施設の教育・保育の質の向上、小学校教育との円滑な接続に向けた環境づくりに取り組んだ。
- ・年度当初、入級者の在籍校より校長・担当者が参加して、適応指導教室との連携を図りながら効果的な支援につなげるための研修会を実施した。他校の例を参考にして、各校が自校での取組を見直し、不登校児童生徒に対する支援の改善・向上につながっている。

### (2) 安心して楽しく学べる教育環境づくりの方針

- ・スクールバス運転手を対象に、安全運行重点項目や運行管理マニュアルを説明し徹底を図ってきた。また道路交通法改正に係るアルコールチェックを4月から実施し、より徹底した安全管理のもとで運行に努めた。
- ・通学路安全推進会議で各校から寄せられた要望について、関係機関と確認の上で、夏季休業中の通学路点検で実情を確認し、関係機関に改善を求めている。
- ・就学援助、奨学金については必要な見直しを図りながら、適正な事務を執行している。

### (3) 安全・安心、安定した学校給食の提供と食育の推進

- ・研修会における衛生管理の再確認、コロナによる従事者不足に対応できるよう業務継続計画の周知徹底と更新を行った。
- ・市内農家会等との意見交換を行い、地場産食材の活用と地産地消への促進を図った。
- ・給食センター再編、調理・配送業務の民間委託に向け、着実に準備を進めている。

## 7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

### (1) 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実

- ・計画的な学校訪問により、各校の実態に即した実効性ある指導助言に努める。
- ・県事業の活用を含め、ICT機器を効果的に活用して、児童生徒の学びの質向上につながる実践の蓄積と研修に取り組む。
- ・「言語活動の充実による学力向上推進事業」公開研究会(増田中学校区)を通し、成果と課題の共有を図る。

### (2) 安心して学べる教育環境づくりの推進

- ・冬期間の安全な運行のため、スクールバス運転手を対象とした安全運転講習会を実施し、事故の防止を図る。
- ・通学路合同点検で確認した危険箇所について関係部署との対応協議を進める。
- ・奨学金募集制度の拡充や返還支援制度について周知を図るとともに、未納者に対する手続きを適正かつ的確に行う。

### (3) 安全・安心、安定した学校給食の提供と食育の推進

- ・冬季に向けて一層留意が必要となる諸感染症への予防対策を徹底する。
- ・市内農家会と意見交換を行い、地場産野菜の安定的確保、使用率向上に取り組む。
- ・給食センターの再編・委託に係り、令和5年度当初からスムーズな給食提供が行えるよう、発注済みの機器や継続使用する調理機器の適正な設置、受託予定者との打合せを遺漏無く行う。

## 8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

### (1) 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実

- ・改善に係る具体的な提案を含む指導助言、及び公開研究会での成果と課題の共有により、全市が方向を一にして授業改善に取り組んでいる。今後は主体的な学び手の育成に視座を置き、研究主題「自ら学ぶ子ども」の育成のもとで、授業改善を進めていく。
- ・ICT機器については、学校訪問指導での呼びかけ、各校での主体的な取組により、日常的な活用が図られている。今後も実践の蓄積を図るとともに、県事業(横手南中)での成果及び課題の共有を通して、ICT活用指導力の向上を図っていく。
- ・就学前教育・保育については、施設訪問・研修会を通して質の向上が図られている。園同士、小学校との連携や交流の充実を進めていく。
- ・いじめについては積極的な認知を行い、事実確認後の適切な指導や関わりにより早期発見・早期解消が図られている。不登校については、学校、関係機関との連携を強化し、一人一人に寄り添った支援を粘り強く行っている。今後もICT機器の活用を通して学びを保障する取組を継続していく。

### (2) 安心して楽しく学べる教育環境づくりの推進

- ・スクールバス運転手安全運転講習会を実施して安全運転への意識向上を図った。令和4年度はこれまで事故が2件発生、いずれも大事には至っていないが、全運転手に対して注意喚起を行い再発防止に努めてきた。
- ・通学路安全推進会議において改善が必要な箇所を把握し、関係部署との合同点検を実施して安全対策を進めることができた。改良に際し、時間を要する場合もあるが、関係部署への働きかけを継続し、通学路の安全確保に努めていく。
- ・奨学金については貸付額の増額、償還期間の延長、前年度募集の制度などを拡充した。貸付決定者が増加し、改善の効果が表れている。返還支援制度と併せ、今後も高校への訪問、チラシの配布などで制度の周知に努め、活用の促進を図っていく。

### (3) 安全・安心、安定した学校給食の提供と食育の推進

- ・衛生管理や対応マニュアルの徹底により、重大事故なく給食を提供できた。今後は民間委託となることから事業者との連絡を密にして、引き続き安全安心な給食提供のため衛生管理の徹底を図る。
- ・コロナの状況に配慮しながら、栄養教諭による食育の推進に努めてきた。ごっつお給食、減塩こんだての実施により食への関心を高めるとともに特色ある献立についてもホームページで紹介した。夏場の天候不順の影響で地場産野菜の使用割合が伸びなかったため、農家会との情報交換を密にして、地場産野菜の計画的な使用を図っていく。